様式１

# 観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年　７月３１日

## １．観光地域づくり法人の組織

| | | |
|---|---|---|
| 申請区分<br>※該当するものを〇で囲むこと | 広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ | |
| 観光地域づくり法人の名称 | （一社）八重山ビジターズビューロー | |
| マネジメント・マーケティング対象とする区域 | 沖縄県石垣市、竹富町、与那国町 | |
| 所在地 | 沖縄県石垣市大川 547 番地　興ビル 206 号室 | |
| 設立時期 | 平成 27 年４月１日 | |
| 事業年度 | ４月１日から翌年３月 31 日までの１年間 | |
| 職員数 | 6 人【常勤 6 人（正職員 3 人・契約職員 1 人・出向等 2 人）、非常勤 0 人】 | |
| 代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） | 中山　義隆<br>（石垣市）（兼任） | 石垣市の市長を務めており、竹富等、与那国町を含む 3 市町の連携エリア「八重山地区」を代表し取りまとめている。国内外への観光誘致等においてもトップセールスを積極的に実施する等行動している。本ビューロー設立時より代表理事を務めている。 |
| データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー | 我那覇　宗広（専従）<br>出身組織名：日本トランスオーシャン航空株式会社 | 航空会社で監査部長、販売部長、経営企画副部長を務めた経験を活かし、観光情報の収集分析や観光客の誘致及び受け入れに関する戦略等をまとめていく。 |
| 財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） | 綿貫　周平（専従）<br>出身組織名：株式会社日本旅行沖縄 | 官公庁での事業立案、予算管理、補助金業務の経験を活かし、持続可能な運営のための運営収支や財源確保、事業継続に従事する。 |
| 連携する地方公共団体の担当部署名及び役割 | 石垣市　企画部（地域社会総合企画推進）<br>企画部観光文化課（マーケティング・観光推進）<br>竹富町　自然観光課（観光振興・自然環境）<br>与那国町　企画財政課（社会資本整備・観光推進・公共交通）<br>八重山広域市町村圏事務組合（地域連携）<br>沖縄県　文化観光スポーツ部（観光政策、受入整備等）<br>沖縄県　八重山事務所総務課（地域観光誘致推進）<br>沖縄総合事務局　運輸部（観光政策、受入整備等） | |
| 連携する事業者名及び役割 | 【八重山圏域内観光振興対策の推進】<br>・石垣市商工会、竹富町商工会、与那国町商工会、八重山経済人会議、JA おきなわ-やえやま、八重山漁業協同組合、石垣島特産品拡め隊（物産・施設） | |

様式１

| | |
|---|---|
| | ・八重山タクシー事業協同組合、東バス、カリー観光、西表島交通、八重山観光フェリー、安栄観光、船浮海運（二次交通）<br>・沖縄県建設業協会八重山支部、八重山地区宅地建物取引業協会（宿泊施設）<br>・海上保安庁第 11 管区（平成 30 年 6 月、八重山諸島における教育旅行関係者の誘客、受け入れ、学びにおける観光地域づくり推進に関する協定書を第 11 管区海上保安部石垣海上保安部、第 11 管区海上保安本部石垣航空基地、八重山ビジターズビューロー及び八重山教育旅行誘致委員会間で締結）<br>【八重山圏域観光資源の開発及び受入態勢の整備】<br>・石垣市観光交流協会、竹富町観光協会、与那国町観光協会 |
| 官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み | 【該当する登録要件】<br>①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画<br>⇒石垣市長、竹富町長、与那国町長、沖縄県八重山事務所所長、石垣市観光交流協会副会長、竹富等観光協会会長、与那国町観光協会会長、石垣市商工会会長、竹富町商工会会長、与那国町商工会会長、八重山経済人会議代表が理事として参画。CMO である YVB 常任の専務理事が中核となり理事会を定期的に実施している。<br><br>②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置<br>・YVB の事業計画、予算等について３行政と話し合う「３市町 YVB ミーティング」を実施。<br>・圏域内の 3 観光協会と実施内容や業務分担等について話し合う「3 観光協会 YVB 事務局長会議」を実施。<br>・八重山圏域の交通事業者（船会社、バス会社）を中心とし、地域の二次交通の課題に取り組む「八重山観光・交通コンソーシアム」を運営。<br>・観光と地域住民との平久保半島観光地域づくりネットワーク会議<br>・その他地域の課題に応じたワーキンググループも随時検討。 |
| 地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組 | ・地域住民を含めた観光地域づくり法人の理解と啓発を目的としたシンポジウムを開催。（2018 年 8 月・12 月、2019 年 3 月）<br>・ユニバーサルツーリズムの理解と啓発を目的としたセミナー。（沖縄県と県警。2018 年 8 月）<br>・竹富町の観光従事者を対象にインバウンド観光客の受入意識調査。座談会も合わせて実施。（2018 年度）<br>・多種多様な業種から参画のビジョン会議メンバーを中心に、専門家による SDGs 勉強会を実施。（2018 年度）<br>・現在の課題抽出を目的として、石垣市長（YVB 会長）と八重山圏域ビジョン会議メンバーに観光協会、青年会議所のメンバーを交えた意見交換会を実施。（2018 年度）<br>・八重山諸島への来訪者に対して八重山諸島の魅力・見どころをわかりやすく伝えるキャッチフレーズ「島色、無限大∞」およびロゴの採用、周知を図る。マスコミ（新聞、ケーブルテレビ）、SNS を通しての発信・航空会社及び旅行会社へトップセールス実施・旅行商品パンフレット、WEB への掲載依頼。<br>・地域住民の観光業についての意識調査に関して、アンケートの実施。（2019 年 2 月、2022 年 2 月）<br>・竹富町におけるインバウンド観光客を意識した観光人材育成セミナーの実施（第 1 回：2019 年 11 月、第 2 回：2019 年 12 月、第 3 回：2020 年 1 月）<br>・石垣市主催の石垣市観光プラットフォーム会議を開催し、住民向けアンケート及び来訪者向けアンケート結果内容について多種多様な業種の市民が参加し |

<table>
<tr><td></td><td>情報共有および課題に対する対応について意見交換を実施。パネリストとしてYVB 専務理事が参加。(2019 年度)<br>・西表島の世界自然遺産登録に伴い、登録後の観光管理等につて環境省及び竹富町の協力のもと講演会を実施。(2021 年度)<br>・SDGs と持続可能な観光について、圏域内の観光従事者の事例を紹介しながらセミナーを実施。(2021 年度)<br>・宿泊税の必要性や使い道についての考えを深め、コロナ禍を越えて「観光の力」や「観光の新たな概念」を発揮して、観光事業者・来訪者（旅行者）・地域が観光による恩恵と幸福度を持続的に高めていく観光地経営について考える「観光の未来を考える日」を石垣市と共催で実施。(2023 年度)<br>・県内の若手議員に向け、DMO の概要について説明を行い、DMO 法人に対する理解促進を実施。また、YVB の取り組み及び八重山観光の現状も紹介した。(2023 年度)<br>・石垣市観光施設整備運用に関する有識者委員会に専務理事が委員として就任。石垣市初の PFI 事業者の選定および地域住民と連携した観光施設事業運営を推進。<br>・国交省事業「モビリティ人材育成事業」の採択受けて、圏域内の多様な観光関事業者を対象とした、観光データの収集・分析・活用に関する人材育成研修会を年間通して開催。(2024 年度)<br>・地域住民を主体とした継続的な観光振興のあり方を協議するため「平久保半島観光地域づくりネットワーク」を設立。公民館を主体とした地域協議会、自治体、環境省などが参画し、地域の観光課題やルール作りに向けた協議を実施。(2024 年度)</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td><u>（１）離島観光活性化促進事業（平成 24 年度～現在）</u><br>滞在日数や消費単価拡大を目指した離島周遊促進のため、八重山ならではの魅力（伝統芸能文化、自然、食文化など）の発信、PR を実施。<br>【令和６年度実施内容】<br>■SNS プロモーション<br>八重山島ぐらしカレッジの SNS サイト運営および冊子制作<br>■食文化観光プロモーション<br>『八重山島ぐらしカレッジ』のリアル講座を北海道北見市で開催。島ことば講座やワークショップを通した八重山ファンの構築。<br>■国外誘客事業<br>台湾・韓国での八重山ＰＲ（2024 台北美食展、2024 台北国際旅行博、トラベルショー2024COEX）<br>■国内誘客事業<br>イベント等出展による PR（ツーリズム EXPO ジャパン 2024、MRO 旅フェスタなど）<br>■パンフレットツール類制作<br><br><u>（２）与那国町誘客促進活性化事業（平成 30 年度～現在）</u><br>与那国町の安定的な発展のため、国内での効果的なプロモーション事業を推進し、マーケットニーズに即した誘客活動の展開や、与那国ブランドの確立に取り組む。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| | | 【令和６年度実施内容】<br>■情報発信ツール制作<br>与那国島観光のパンフレットや体験 MAP（日本語＋外語語版)、及びオリジナルノベルティの作成<br>■誘客プロモーション<br>中部国際空港・羽田空港・那覇商業施設での観光物産フェア、台湾花蓮市マラソン大会観光ＰＲ、与那国島島内カジキ釣り大会、マラソン大会など<br><br>**（３）八重山観光親善大使事業（平成 24 年度～現在）**<br>国内外における八重山観光関連公式行事やイベントにおいて、八重山観光の PR と親善交流を実施。また個人ダイレクトマーケティングの一環としての SNS 情報発信も実施。<br>【令和６年度実施内容】<br>派遣延べ日数：73 日（2 人合計）<br>Facebook：フォロワー数 6,174 人　投稿回数 193 回<br>（令和 7 年 3 月時点）<br>Instagram：フォロワー数 7,081 人　投稿回数 192 回<br>（令和 7 年 3 月時点）<br><br>**（４）八重山観光感謝のつどい（平成 24 年度～現在）**<br>地元観光事業者と旅行会社との連携構築のため、旅行会社を八重山へ招聘しての観光セミナー及び地元事業者との大商談会を開催。<br>【令和６年度実施内容】<br>日程：令和６年 10 月 23 日（水）<br>参加者：旅行会社 39 社　119 名（60 本社・支店）<br>地元出展事業者　28 社<br>行政観光団体　5 団体　　合計　33 出展<br><br>**（５）八重山の海びらき（平成 24 年度～現在）**<br>ひと足早い夏の訪れを日本全国にアピールするとともに、海の安全祈願をする事を目的として「日本最南端の海びらき」を例年開催。<br>【令和６年度実施内容】<br>令和７年３月 15 日　西表島開催　約 400 名参加 |
| | 受入環境の整備 | **（1）DMO 強化対策事業（平成 30 年度～令和 6 年度）**<br>【令和 6 年度実施事業】<br>■より良い受入環境整備のための各種会議への参画 |

| | | |
|---|---|---|
| | | ・沖縄県観光推進ロードマップ意見交換会<br>・観光目的税に関する意見交換会<br>・地域交通課題の緊急対策（「交通空白」の抜本解消）に関する説明・意見交換会<br>・石垣市観光審議会<br>・石垣市観光マーケティング会議<br>・石垣市 PFI 事業者選定等委員会<br>・西表島の持続可能な観光のための認証制度検討会<br>・与那国町第２次観光振興計画策定委員会<br>・八重山地区水難事故推進協議会<br>・沖縄県マリンレジャー事故防止調査対策事業シンポジウム<br>・観光客の水難事故防止に関する意見交換会<br>■地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業<br>観光庁の公募事業に YVB が申請主体となり、参画事業者の取りまとめ及び全体計画の作成を行った、令和６年度は圏域内の 13 事業者が参画し、地域の宿泊施設、観光施設が地域計画に沿った高付加価値回収を計画していたものの、採択見送りとなった<br>■八重山観光・交通コンソーシアム<br>令和４年度からの継続事業。八重山圏域の交通事業者６社から成る八重山観光・交通コンソーシアムを発足し、その事務局を担当。八重山圏域における二次交通の利便性向上、慢性的な交通渋滞、コロナ禍により減少したレンタカー不足等の問題を解決および公共交通分担率向上のため、公共交通におけるサブスクリプションを導入。令和 6 年度から自走化によるモバイルチケット販売を開始。<br>■モビリティ人材育成事業<br>国土交通省の共創ＭａａＳ実証プロジェクトを活用した、観光・交通データの利活用に関する研修会及びワークショップを開催。計５回のセミナー形式の講座と実践型ワークショップ、成果報告会を行った。講座参加者：延べ 138 名。<br>■地域データベースの構築<br>おきなわ観光地域カルテの有料版であるおでかけウォッチャーを活用し、八重山圏域の人流データを把握。各島の主要観光エリアごとの人流を把握するためマッピングを行い、今後は継続的にエリアごとの人流を把握し、施策策定に活用していく。また、事務局内でのテーマを設けたデータ勉強会も継続実施。<br>■CMO（データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者）勉強会<br>･石垣市観光マーケティング会議：「石垣市観光統計の活用とブラッシュアップ」<br>･竹富町観光協会事務局：「八重山入域観光客概要及び竹富町島別推移」<br>･石垣市観光交流協会宿泊部：「石垣島のインバウンド現状と今後の戦略」<br>■その他実施会議等<br>・九州産業大学との意見交換<br>・琉球大学島嶼観光入門講義 |

| | | |
|---|---|---|
| | | ・竹富町観光協会事務局職員への講話<br>・石垣市観光交流協会宿部会員への講話<br><br>**（２）与那国町誘客促進活性化事業（平成 30 年度～現在）**<br>【令和 6 年度実施事業】<br>アンケートに基づいた観光統計の分析、有識者と連携した分析結果の島内セミナー開催。<br><br>**（３）八重山教育旅行誘致委員会（事務局運営）**<br>圏域内の約 30 の事業者で構成される教育旅行受入に関する団体運営。<br>【令和 6 年度実施事業】<br>・修学旅行受入実態数調査（会員事業者への聞き取り）<br>・旅行会社及び航空会社へのキャラバン実施<br>コロナ禍後の団体受入に関する会員事業者の状況を整理して、適正な受け入れに関しての意見交換を実施。 |
| | 観光資源の磨き上げ | **（１）与那国町誘客促進活性化事業（与那国町）**<br>■与那国島プレイスブランディング構築基礎調査事業<br>与那国島におけるプレイス(地域)ブランディング構築に向けて与那国島の地域資源や住民・訪問者の意識を分析し、ブランディング構築への基礎調査を実施。<br><br>**（２）フィールドミュージアム発信事業**<br>石垣市北部の平久保半島において、自然環境と持続可能な観光の共生をテーマに、生物多様性、ローカル性を体験するアクティビティメニューの磨き上げや新規造成を行い、観光消費や体験価値による地域振興を目的として実施。環境省が実施する「西表石垣国立公園北部インタープリテーション計画」と連動して、石垣島の自然フィールドで体験できる国内外客をターゲットにしたアドベンチャーツーリズムの造成と観光マナーの情報発信およびアクティビティツアーガイド業の付加価値創出を実施。 |

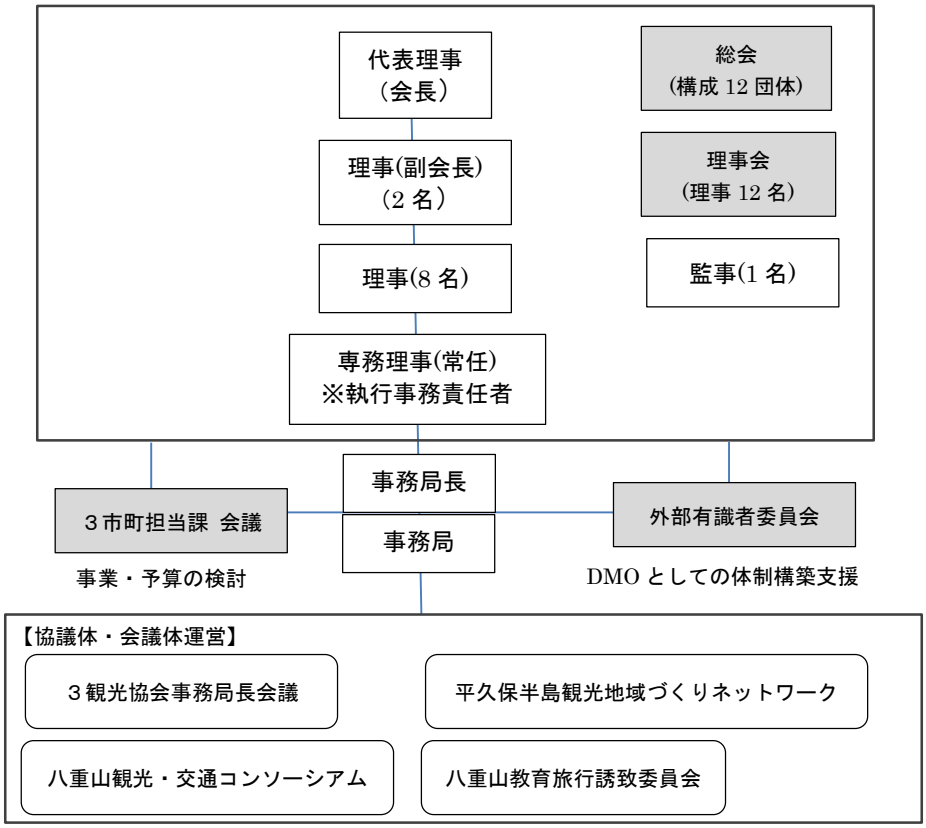
**【定量的な評価】**

・八重山入域観光客数（4 月～翌年 3 月）

| | | |
|---|---|---|
| 平成 28 年度 | 1,266,778 人 | （対前年比 107.3%） |
| 平成 29 年度 | 1,363,465 人 | （対前年比 107.6%） |
| 平成 30 年度 | 1,420,142 人 | （対前年比 104.2%） |
| 令和元年度 | 1,416,383 人 | （対前年比 99.7%） |
| 令和２年度 | 493,701 人 | （対前年比 34.9%） |
| 令和３年度 | 601,435 人 | （対前年比 121.8%） |
| 令和４年度 | 1,041,530 人 | （対前年比 173.2%） |
| 令和５年度 | 1,260,684 人 | （対前年比 121.0%） |
| 令和６年度 | 1,406,403 人 | （対前年比 111.6%） |

【コメント】

平成 16 年度～平成 22 年度の間、八重山の年間入域観光客数は 70 万人台の

| | |
|---|---|
| | 記録が続いていたが、平成 25 年の南ぬ島石垣空港開港後、観光客数は大幅に伸び、平成 25 年度は 98 万人台を記録。平成 26 年度は初の 100 万人台を記録し、令和元年度は過去最高の 141 万人を突破した。令和 2 年度以降、新型コロナウィルス感染症の影響により入域客数は大きく落ち込んだが、令和 6 年度は 140 万人を超え、過去 2 番目の入域客数となっている。 |
| 実施体制<br>※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。 | **【実施体制の概要】**<br>石垣市・竹富町・与那国町の行政、沖縄県八重山事務所・八重山広域市町村圏事務組合・八重山経済人会議・石垣市商工会・竹富町商工会・与那国町商工会・石垣市観光交流協会・竹富町観光協会・与那国町観光協会の計 12 団体で組織されている。各テーマ別の協議体として「八重山教育旅行誘致委員会」「八重山観光・交通コンソーシアム」「平久保半島観光地域づくりネットワーク」等を設置。<br><br>**【実施体制図】**<br>一般社団法人八重山ビジターズビューロー　組織図<br>  <br> |

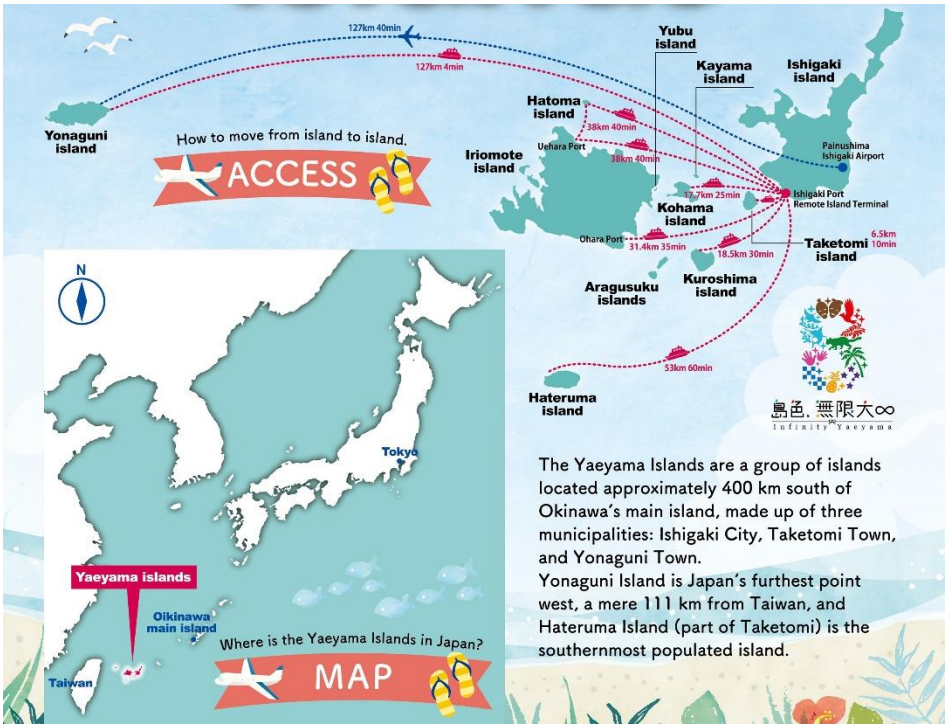
## ２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

様式１

**【区域の範囲】**

日本最南西端の八重山諸島

（石垣島・竹富島・小浜島・西表島・由布島・黒島・鳩間島・新城島・加屋真島・波照間島・与那国島）




**【区域設定の考え方】**

八重山諸島は、石垣市、竹富町、及び与那国町の１市２町で構成され、11 の有人島から成る地域である。石垣市を中心とした交通結節点（空港・港湾）と、竹富町・与那国町の離島観光地による周遊動線が形成されているため、生活圏・観光圏・経済圏が密接に結びついている。このため、単一自治体単位ではなく、3 市町を包括した八重山諸島として一体的にマネジメントすることが、観光需要の平準化や受入環境整備、広域プロモーションの効率性において合理的である。

【観光客の実態等】

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）　（単位：人）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入域観光客数 | 97,619 | 91,493 | 94,522 | 129,790 | 110,201 | 114,277 | 109,368 | 93,268 | 84,225 | 92,370 | 111,901 | 131,650 | 1,260,684 |
| **内日本人** | **95,590** | **91,476** | **94,465** | **129,762** | **110,201** | **114,111** | **109,367** | **93,267** | **84,225** | **91,112** | **110,098** | **130,749** | 1,254,423 |
| **内外国人** | **2,029** | **17** | **57** | **28** | **0** | **166** | **1** | **1** | **0** | **1,258** | **1,803** | **901** | 6,261 |
| 台湾 | 18 | 15 | 47 | 27 | 0 | 166 | 1 | 0 | 0 | 32 | 422 | 140 | 868 |
| 香港 | 4 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 1 | 8 | 30 |
| 中国 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 32 | 4 | 4 | 41 |
| 韓国 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 743 | 199 | 6 | 964 |
| アジア（上記以外） | 175 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 89 | 6 | 17 | 291 |
| ヨーロッパ | 867 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 115 | 116 | 290 | 1,393 |
| アフリカ | 83 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 85 |
| 北アメリカ | 595 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 153 | 1,031 | 334 | 2,114 |
| 南アメリカ | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35 | 8 | 3 | 49 |
| オセアニア | 267 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 43 | 16 | 99 | 426 |

様式１

令和6年度(令和6年4月～令和7年3月)　　(単位:人)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入域観光客数 | 111,141 | 92,691 | 103,271 | 142,047 | 163,994 | 125,979 | 117,220 | 112,109 | 122,211 | 95,421 | 87,852 | 132,467 | 1,406,403 |
| **内日本人** | **110,057** | **92,647** | **102,419** | **141,979** | **163,933** | **123,899** | **115,215** | **111,951** | **122,201** | **95,095** | **85,759** | **131,946** | 1,397,101 |
| **内外国人** | **1,084** | **44** | **852** | **68** | **61** | **2,080** | **2,005** | **158** | **10** | **326** | **2,093** | **521** | 9,302 |
| 台湾 | 35 | 30 | 197 | 61 | 58 | 165 | 20 | 25 | 0 | 314 | 174 | 4 | 1,083 |
| 香港 | 3 | 0 | 18 | 0 | 0 | 21 | 13 | 0 | 0 | 0 | 5 | 7 | 67 |
| 中国 | 21 | 9 | 7 | 0 | 1 | 11 | 9 | 19 | 0 | 2 | 2 | 5 | 86 |
| 韓国 | 13 | 0 | 11 | 5 | 0 | 17 | 66 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 141 |
| アジア(上記以外) | 31 | 0 | 17 | 0 | 0 | 82 | 111 | 17 | 10 | 1 | 202 | 10 | 481 |
| ヨーロッパ | 594 | 5 | 98 | 2 | 2 | 289 | 381 | 41 | 0 | 3 | 453 | 153 | 2,021 |
| アフリカ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 11 |
| 北アメリカ | 210 | 0 | 418 | 0 | 0 | 1,246 | 1,110 | 21 | 0 | 4 | 1,084 | 247 | 4,340 |
| 南アメリカ | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 26 | 100 | 4 | 0 | 0 | 10 | 12 | 158 |
| オセアニア | 173 | 0 | 84 | 0 | 0 | 221 | 188 | 2 | 0 | 2 | 163 | 81 | 914 |

**【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**

西表石垣国立公園：西表島、石垣島及びその間に広がる石西礁湖
ダイビングやシュノーケリングなどのマリンアクティビティコンテンツの提供

星空保護区：日本初の星空保護区（ダークスカイパーク）
星空観賞ツアーなどのナイトタイムコンテンツを提供

世界自然遺産：竹富町西表島
竹富町の認定ガイドによるカヌーやトレッキングなどのアクティビティツアーの提供

〈観光地・施設〉

石垣島：川平湾・米原キャンプ場・バンナ公園・御神崎・海水浴場・玉取崎展望台・平久保灯台・石垣市立博物館・平和祈念館・具志堅用高記念館・唐人墓・国立天文台・野底マーペ・屋良部岳、他

竹富島：竹富島ビジターセンターゆがふ館・カイジ浜・コンドイビーチ・竹富民芸館、他

小浜島：大岳・シュガーロード・細崎海岸、他

西表島：西表野生生物保護センター・仲間川・浦内川・由布島・マリュウドの滝・ピナイサーラの滝、他

鳩間島：前の浜・鳩間島展望台、他

黒島：黒島ビジターセンター・プズマリ・黒島研究所・仲本海岸、他

波照間島：日本最南端の碑・ニシ浜、他

与那国島：日本最西端の碑・与那国町伝統工芸館・DiDi 与那国島歴史文化交流資料館・立神岩・ティンダバナ・Dr.コトー診療所ロケ地、他

〈伝統文化・芸能〉

みんさー織・与那国織・草木染手織・八重山上布・陶芸・焼き物・伝統行事の面・アンガマ・獅子舞・八重山民謡・八重山舞踊、等

〈イベント〉

各地の伝統行事（豊年祭・ハーリー・種子取祭・節祭り、他）・石垣島まつり・南の島の星まつり・ぱいぬ島まつり・黒島牛まつり・与那国今国際カジキ釣り大会・音楽祭（鳩間島・西表島）、石垣島フラフェスティバル、他

〈スポーツ〉

石垣島トライアスロン大会・八重山３マラソン（石垣島・西表島・与那国島）千葉ロッテマリーンズ春季キャンプ

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

様式１

＊令和6年12月31日現在

| | | 石垣市 | 竹富町 | 与那国町 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| ホテル・旅館 | 軒数 | 90 | 31 | 9 | 130 |
| | 収容人員 | 13,960 | 1,472 | 139 | 15,571 |
| 民宿・ペンション・貸別荘 | 軒数 | 329 | 109 | 21 | 459 |
| | 収容人員 | 3,556 | 1,442 | 350 | 5,348 |
| その他（ユースホステル等） | 軒数 | 75 | 12 | 2 | 89 |
| | 収容人員 | 1,434 | 158 | 38 | 1,630 |
| 合計 | 軒数 | 494 | 152 | 32 | 678 |
| | 収容人員 | 18,950 | 3,072 | 527 | 22,549 |

※沖縄県　宿泊施設実態調査より

**【利便性：区域までの交通、域内交通】**

＊県外・国外から八重山圏域までの交通

| | |
|---|---|
| 石垣空港⇔東京国際空港（羽田） | 日本航空・全日本空輸 |
| 石垣空港⇔成田国際空港 | Peach Aviation |
| 石垣空港⇔中部国際空港 | 日本トランスオーシャン航空・全日本空輸・Peach Aviation |
| 石垣空港⇔関西国際空港 | 日本トランスオーシャン航空・全日本空輸・Peach Aviation |
| 石垣空港⇔大阪国際空港（伊丹） | 全日本空輸※夏季のみ |
| 石垣空港⇔福岡空港 | 全日本空輸（運休中）・Peach Aviation |
| 石垣空港⇔香港国際空港 | 香港エクスプレス |
| 石垣空港⇔台湾桃園空港 | 中華航空、タイガーエア台湾 |
| 石垣空港⇔仁川国際空港 | ジンエアー |

＊県内での交通

| | |
|---|---|
| 石垣空港⇔那覇空港 | 日本トランスオーシャン航空・琉球エアコミューター・全日本空輸・ソラシドエア |
| 石垣空港⇔宮古空港 | 琉球エアコミューター |
| 石垣空港⇔与那国空港 | 琉球エアコミューター |
| 与那国空港⇔那覇空港 | 琉球エアコミューター |
| 石垣空港⇔波照間空港 | 第一航空 |
| 石垣空港⇔多良間空港 | 第一航空 |

＊八重山圏域の交通

南ぬ島石垣空港⇔石垣離島ターミナル

・バス　所要時間　約 30 分～45 分

タクシー　所要時間　約 30 分

様式１

船で … 石垣島離島ターミナルから各離島へ

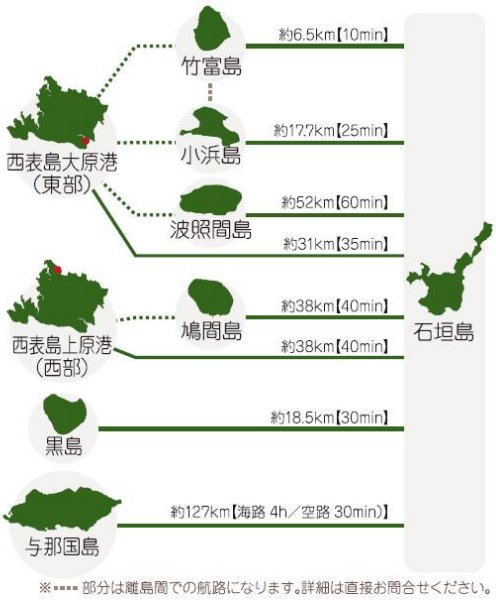
| 航路 | 所要時間 | 会社名 |
|---|---|---|
| → 竹富島 | 10分 | |
| → 西表島(大原港) | 35-45分 | 八重山観光フェリー |
| → 西表島(上原港) | 40-45分 | 安栄観光 |
| → 小浜島 | 25-35分 | 石垣島ドリーム観光 |
| → 黒　島 | 25-35分 | |
| → 鳩間島 | 40-55分 | 八重山観光フェリー／安栄観光 |
| → 波照間島 | 60分 | 安栄観光 |
| → 与那国島 | 4時間 | 福山海運 |

飛行機で … 石垣島から与那国へ

| 航路 | 所要時間 | 会社名 |
|---|---|---|
| → 与那国島 | 30-35分 | JTA(RAC) |

◆お問合せ先

| | | | |
|---|---|---|---|
| 八重山観光フェリー | ☎0980-82-5010 | 福山海運 | ☎0980-82-4962 |
| 安栄観光 | ☎0980-83-0055 | JTA(RAC) | ☎0570-025-071 |
| 石垣島ドリーム観光 | ☎0980-84-3178 | | |



※----- 部分は離島間での航路になります。詳細は直接お問合せください。

**【外国人観光客への対応】**

・空港案内所での多言語対応（石垣市・空港ターミナルが運営）
・多言語対応パンフレットの制作
・ＷＥＢサイトでの情報発信
・沖縄県が実施する「多言語コンタクトセンター」の活用促進

## ３．各種データ等の継続的な収集・分析

| 収集するデータ | 収集の目的 | 収集方法 |
|---|---|---|
| 旅行消費額 | 観光消費による経済波及効果を把握 | 「沖縄県観光統計実態調査」「沖縄県外国人観光客実態調査報告書」「八重山入域観光客数統計概況」による。 |
| 延べ宿泊者数 | 観光客の宿泊エリア・動向を把握 | |
| 来訪者満足度 | 八重山圏域に対しての観光客の評価を把握することで、継続的に旅行者の訪れる観光地域づくりのため | |
| リピーター率 | 観光消費額の安定的な基盤の構成のため、リピーターを増やし、他者推奨意向を高め、新規訪問者の取り組みに繋げる。 | |
| 自社 HP アクティブユーザー数 | 八重山圏域に対する顧客の関心度や背策の効果を把握するため | グーグルアナリティクスを活用して実施 |
| ミス八重山 Facebook ページフォロワー数 | 八重山圏域の認知度および興味関心度合いを測るため | 各 SNS のインサイト機能を活用して実施 |
| ミス八重山 Instagram フォロワー数 | | |
| 八重山圏域の教育旅行学校数 | 本圏域に訪れる学校数を把握するため | 八重山教育旅行誘致委員会へのアンケートを実施 |

## ４．戦略

### （１）地域における観光を取り巻く背景

■八重山諸島は、石垣市・竹富町・与那国町の１市２町で構成され、日本最南西に位置する地域である。世界自然遺産や世界有数の珊瑚礁群が広がる石西礁湖など、世界レベルの自然資源を有しており、島々の多様な自然・文化を活かした多様な観光コンテンツを有することが強みである。
■観光入域客数は年々増加しており、2024 年度には約 140 万人を記録し、コロナ禍前の水準（約 147 万人）に近づいている。2025 年 4 月から国際線が再開され、今後はインバウンド需要の本格的回復が見込まれている。
■一方で、近年の観光回復によって観光課題も顕在化してきている。
（１）観光需要の時期的・場所的偏在
観光需要が特定の時期（夏季や大型連休など）やエリアに集中することにより、自然環境への過度な負荷や、地域住民の生活空間との摩擦、局所的な渋滞や交通手段の不足が生じている。
（２）人材不足と待遇改善の必要性
観光産業全体で慢性的な人手不足が続いており、特に若年層の定着率が低い傾向にある。収益性向上のためのターゲットに即した高単価コンテンツ造成や、DX 推進による業務効率化も必要である。
■こうした課題を受け、八重山地域では「量から質への転換」を掲げ、持続可能な観光地への転換を目指している。石垣市は観光基本計画において「サステイナブルツーリズム」を明示し、観光客・事業者・地域住民が協調する観光地づくりを進めており、竹富町は「レスポンシブルツーリズム」を基軸に、観光客の行動変容を促す啓発活動を強化し、自然と文化を守る観光のあり方を提示している。
■今後は、地域の自然や文化の価値に共感する高単価層の長期滞在化を図ることで、地域全体の収益性向上と地域住民の生活との調和を実現していく必要である。

### （２）地域の強みと弱み

| | 好影響 | 悪影響 |
|---|---|---|
| 内部環境 | **強み（Strengths）**<br><br>**・自地域で積極的に活用できる強みは何か？**<br><br>■希少で多様な自然資源<br>・西表石垣国立公園（石西礁湖）、世界自然遺産の西表島、星空保護区など、国際的価値を有する自然資源。<br>・カンムリワシ、イリオモテヤマネコ、ヤエヤマヤシなどの希少な動植物。<br><br>■独自の文化・生活<br>・赤瓦集落（竹富島）などの伝統的建築物や街並み、豊年祭・海神祭など地域独自の伝統文化・芸能が継承される生活文化圏。<br><br>■島々の多様性<br>・島ごとの個性を活かした多様な体験コンテンツ。幅広いニーズに対応する周遊滞在。<br>・与那国島の独自観光資源と季節性（冬季のハンマーヘッドシャーク観察ダイビングなど） | **弱み（Weaknesses）**<br><br>**・自地域で改善を必要とする弱みは何か？**<br><br>■観光業界全体での人手不足<br>竹富町や与那国町では宿不足が顕在化。<br><br>■観光需要の偏在（時間・場所・季節）<br>・季節での繁閑差、地域スポット単位での混雑偏在。<br>・局所的な需要による移動手段不足や渋滞の発生<br><br>■インバウンドの受入体制<br>多元言語対応や来訪地域の文化習慣への対応の不足。来訪者のマーケティング不足<br><br>■地域経済への波及力の弱さ<br>高付加価値コンテンツの不足。地元産品・サービスと観光を結びつける仕組みの不足。 |

様式１

| | 機会（Opportunity）<br><br>**・自地域にとって追い風となる要素は何か？** | 脅威（Threat）<br><br>**・自地域にとって逆風となる要素は何か？** |
|---|---|---|
| 外部環境 | ■インバウンド需要回復と近距離市場優位性<br>・アジア地域との地理的近接<br>・令和７年度から台湾、香港、韓国の国際線空路再開及び新規就航。<br>・台湾－石垣の海路定期フェリー就航予定<br><br>■観光トレンドの変化<br>サステナブルツーリズム・ウェルネス・自然志向の高まりにより、「自然・文化保全と連動した体験価値」のニーズが世界的に拡大。<br><br>■圏域外からの投資拡大<br>新規ホテルや施設の建設。新たな観光関連サービスの開発。 | ■自然災害や気候変動<br>・台風による繁忙期の影響<br>・サンゴの白化など温暖化に伴う自然環境への影響<br><br>■台湾有事等の地政学的リスク。<br><br>■物価高・地価上昇<br>・観光関連事業者の利益率低下<br>・観光需要増加による圏域外からの投資過熱化による住民生活への影響（R7 公示地価）。<br><br>■国際線の継続性<br>需要変動や外的要因による運休・減便リスク |

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

## （３）ターゲット

〇第１ターゲット層　（国内）
【国内リピーター層】
・石垣空港から直行便が就航している首都圏/中部エリア/関西エリア/福岡・北九州エリア
・20～30 代、60 代の夫婦・カップル・ファミリー層（八重山を訪れる観光客の約 60%に該当）

〇選定の理由
八重山地域で推進する「量から質への転換」の観点から、地域の自然や文化、サステイナブルツーリズムに共感する来訪者の誘致・維持が重要である。現状のリピーター率 6 割を維持しつつ、再訪時の更なる離島滞在や地域での消費拡大を進めていく。そのために、客層の定性的な分析（マーケティング）とコンテンツの磨き上げを含めた受入整備を両輪で進めていく。また、こうした層を起点に観光地ブランディングを進めることで、価値観を共有する新規顧客の獲得にも繋げる。
【属性情報】
■若年層
・来訪目的は「癒し」「自然」「非日常感」が上位であり、星空・ビーチ・離島周遊などの資源と親和性が高い。
・SNS 発信・口コミ波及力が高く、旅マエ情報の拡散力がある。
■シニア層
・冬季の来訪割合が高く、閑散期需要平準化に寄与する。
・滞在日数・消費単価が比較的高く、また健康志向・学習意欲も高いため、ウェルネス・自然文化体験と親和性がある。

〇取組方針

| |
|---|
| 八重山諸島の豊かな自然を体験すること、また地域に根付く伝統文化芸能のコンテンツをニーズにより細分化し、体系的なアプローチを実施する。ターゲット層への的確な遡及と、ターゲット層のペルソナ属性を具体化することで、高付加価値な観光で長期滞在層の誘客につなげる。 |
| ○第２ターゲット層<br>国際線就航地（台湾、香港、韓国）を基点としたインバウンド個人客 |
| ○選定の理由<br>・沖縄県全体インバウンド客の国籍・地域別入域客のうち 8 割以上が東アジア諸国からの入域となっており、沖縄県において重要市場と位置付けられている。<br>・国内人口減少に伴い国内旅行客も減少していく中で、地理的近接性を活かし、国際線就航地からの需要を取り込むことで入域客数・消費額を安定化させる。<br><br>○取組方針<br>・圏域内の観光・商工関係者と連携したプロモーションを実施。<br>・地域内での快適な移動と地域での交通問題緩和のため、公共交通の利用促進（MaaS）の取組みを実施。<br>・第１ターゲット同様に、地域に根付く多様なコンテンツを遡及させリピーター化を図る。通年での安定来訪を実現させ、国際線便の継続と下期の便数増加を目指す。<br>【台湾】<br>沖縄県のインバウンドのコアターゲットとして位置づけられている地域であり、八重山においても文化的・歴史的に関係の深い地域である。圏域における台湾インバウンドの観点だけでなく、八重山観光客の八重山＋台湾の来訪スタイル構築も検討して、一体的な観光圏構築を目指す。<br>【香港】<br>香港国際空港は世界有数の航空 HUB の一つであり、香港インバウンドだけでなく多様な地域からの来訪を期待できる。特に、当地域の観光方針及び観光資源と親和性の高い欧州長期滞在層（自然文化体験ニーズ）を取り込むため、香港＋八重山のプロモーション展開も検討していく。<br>【韓国】<br>今年度からの新規就航地であり、今後の伸びしろが期待される地域である。沖縄県全体では特に若年層の来訪が高く、旅行に関するインフルエンサーの情報発信が一際大きな影響力を持つことから、地域の魅力発信だけでなく地域の適正な旅マエ発信を行っていく。 |

## （４）観光地域づくりのコンセプト

| | |
|---|---|
| ①コンセプト | 八重山圏域の来訪者に向けた八重山の 8 つの魅力を現したキャッチフレーズ「島色、無限大∞」とロゴを設定。<br><br>島色、無限大∞<br>Infinity Yaeyama |

| | |
|---|---|
| ②コンセプトの考え方 | 無限大のマーク「∞」と八重山の「八」の数字をかけて、8 つの魅力を「8」の形に型取っている。8 つの魅力には、それぞれ意味合いのあるテーマカラーを設定。文字ロゴには 8 つの魅力それぞれのテーマカラーを組み込み、無限大のマーク「∞」とリボンの形を組み合わせた中央の水引は、「結いの心」で、8 つの魅力をひとつに纏め上げるデザインになっている。<br>（１） 海洋…マンタ、サンゴ、カジキ<br>→美しい八重山の海のライトブルー<br>（２） 自然・動植物…ヤエヤマヤシ、イリオモテヤマネコ<br>→自然の強い息吹を感じるグリーン<br>（３） 文化・芸能…アンガマ<br>→伝統を重んじるしっかりとしたブラウン<br>（４） 食…パイナップル<br>→太陽の光をいっぱい浴びた元気なオレンジ<br>（５） 島の人たち・島々の個性…てのひら<br>→人々の暖かさを感じるピンク<br>（６） 風情…カンムリワシ、デイゴ<br>→深紅に染まる春のデイゴのレッド<br>（７） 工芸・陶芸…ミンサー織<br>→代表的なミンサー織の矢山の海のブルー<br>（８） 星…南十字星<br>→美しく光る星々が映える深い夜空のバイオレット |

## ５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

| 項目 | 概要 |
|---|---|
| 戦略の多様な関係者との共有<br>※頻度が分かるよう記入すること。 | ・協働による観光まちづくりを推進するため、石垣市主導の観光地経営戦略会議および観光地経営戦略チーム（不定期）に CMO と CFO が参画。観光事業者ネットワークとの連携、調整を核としつつ、市民や事業者との共同体制を構築。<br>・八重山ビジターズビューローが主催する理事会（年３～４回程度および八重山圏域ビジョン会議（年２回程度）において事業内容、戦略を共有。また外部有識者委員会（年２回程度）の識者の意見に基づき戦略を磨き上げ。<br>・石垣市が中心となり関係団体と立ち上げた石垣市スポーツコミッションに専務理事が副会長として就任し事業計画を推進。<br>・宿泊税導入を検討する石垣市観光審議会に専務理事が委員として就任。宿泊税の制度設計や使途の方針等、条例案を策定するとともに事務局及び受託業務に繋げていく。 |
| 観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築 | ・石垣市特産品振興組合による厳正な審査に合格した特産品に石垣市特産品認定証が与えられ、品質や安心を保証。<br>・沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全確保等に関する条例により、マリンレジャー事業者は公安委員会へ届出が必要となっている。また石垣市消防本部や八重山警察署、石垣海上保安部などの関係機関により、八重山地区水難事故防止推進協議会が組織され、八重山における水難事故防止に関する啓発活動を行っている。 |

| | |
|---|---|
| | ・石垣市観光交流協会、竹富町観光協会による星空ガイド育成講座を通じたガイド認定を実施。<br>・竹富町観光案内人条例により、西表島の自然観光ガイドの免許制度を制定。西表島の優れた自然を守りながら地域に根差した質の高いガイドツアーの提供を目指す。<br>・令和５年３月策定された「竹富町観光振興基本計画」を踏まえ同年９月「第１回西表島の持続可能な観光のための認証制度検討会」が開催され、CMO が参画。地域住民の合意形成を図りながら、令和７年度からの試験的運用目指す。<br>・エコツーリズム推進法に基づき西表島エコツーリズム推進協議会を設置。自然体験ゾーン、保護ゾーン、一般利用ゾーンとエリアごとにルールを定める等している。 |
| 観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション | ・八重山観光親善大使（ミス八重山）の公式 SNS（Facebook、Instagram）を通した情報発信のプロモーションを実施。<br>・YVB、石垣市観光交流協会、竹富町観光協会、与那国町観光協会の HP にて地域イベント情報を発信。<br>・八重山観光アプリ「島色、無限大∞」を通じて、観光情報他、イベント情報を発信。<br>・与那国島の女性観光客の増加を狙った「私に還る。与那国島」の特設 WEB サイト・公式 SNS にて情報発信。<br>・インバウンド向けに八重山の文化や歴史、イベント等の情報を WEB サイト「Yaeyama Islands」にて情報発信。 |

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

## ６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

### （１）必須ＫＰＩ

| 指標項目 | | 2022（Ｒ４）年度 | 2023（Ｒ５）年度 | 2024（Ｒ６）年度 | 2025（Ｒ７）年度 | 2026（Ｒ８）年度 | 2027（Ｒ９）年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●旅行消費額（百万円） | 目標 | 70,000 | 117,400 | 123,800 | 130,400 | 137,500 | 144,900 |
| | | （未設定） | （未設定） | （未設定） | （12,900） | （13,600） | （14,300） |
| | 実績 | 94,660 | 104,800 | 124,580 | | | |
| | | （0） | （2,191） | （未） | | | |
| ●延べ宿泊者数（千人） | 目標 | 2,961 | 3,213 | 3,486 | 3,782 | 4,104 | 4,452 |
| | | （未設定） | （未設定） | （未設定） | （561） | （592） | （624） |
| | 実績 | 3,270 | 3,795 | 4,205 | | | |
| | | （0） | （0） | （未） | | | |
| ●来訪者満足度（%） | 目標 | 98.0 | 98.0 | 98.0 | 98.0 | 98.0 | 98.0 |
| | | （未設定） | （未設定） | （未設定） | （97.0） | （97.5） | （98.0） |
| | 実績 | 96.8 | 97.6 | 97.0 | | | |
| | | （N.A） | （96） | （97.8） | | | |
| ●リピーター率（%） | 目標 | 57.3 | 60.2 | 60.0 | 60.0 | 60.0 | 60.0 |
| | | （未設定） | （未設定） | （未設定） | （60.0） | （60.0） | （60.0） |
| | 実績 | 52.7 | 58.0 | 58.7 | | | |
| | | （N.A） | （66.0） | （34.9） | | | |

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**
※ＫＰＩとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。
沖縄県および石垣市の観光基本計画をベースにして、YVB にて策定。

**【設定にあたっての考え方】**
●旅行消費額
実績については、沖縄県八重山事務所による「八重山入域観光客数統計概況（推計）」（総計）と沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。
目標値については、実績および第 6 次沖縄県観光振興基本計画および第 2 次石垣市観光基本計画をベースに 105.4%の伸び率で設定。
●延べ宿泊者数
実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計一体調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。
目標値については、実績および第 6 次沖縄県観光振興基本計画および第 2 次石垣市観光基本計画をベースに 108.5%の伸び率で設定。
●来訪者満足度
実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、現状の高い水準を維持することを目標として設定。
●リピーター率
実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。
目標値については、実績及び「石垣市観光基本計画」「竹富町観光振興基本計画」「与那国町総合計画」をベースに 5%の伸び率で設定。最終的には 60%を維持することを目標値とする。

## （２）その他の目標

| 指標項目 | | 2022（Ｒ４）年度 | 2023（Ｒ５）年度 | 2024（Ｒ６）年度 | 2025（Ｒ７）年度 | 2026（Ｒ８）年度 | 2027（Ｒ９）年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●八重山の教育旅行実施校数（校） | 目標 | 154 | 126 | 104 | 116 | 120 | 125 |
| | 実績 | 166 | 148 | 115 | | | |
| ●自社ＨＰアクティブユーザー数（人） | 目標 | N.A | N.A | 10,000 | 10,000 | 10,500 | 11,000 |
| | 実績 | N.A | N.A | 9,122 | | | |
| ●ミス八重山 Facebook フォロワー数（人） | 目標 | 6,200 | 6,200 | 6,200 | 6,300 | 6,400 | 6,500 |
| | 実績 | 6,083 | 6,174 | 6,157 | | | |
| ●ミス八重山 Instagram フォロワー数（人） | 目標 | 7,000 | 7,500 | 7,200 | 7,300 | 7,400 | 7,500 |
| | 実績 | 6,861 | 7,081 | 7,280 | | | |

※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**
・八重山の教育旅行実施数：八重山教育旅行誘致委員会にて検討。実績については八重山教育旅行誘致委員会会員へアンケートを実施。
・自社 HP 閲覧数：これまでの閲覧数を考慮し、毎年同水準の閲覧数を設定。
・ミス八重山 Facebook ページフォロワー数：これまでの増加数を考慮し、毎年同水準の伸び数を設定
・ミス八重山 Instagram フォロワー数：これまでの増加数を考慮し、毎年同水準の伸び数を設定

**【設定にあたっての考え方】**
・八重山の教育旅行数：定期的な委員会の会議により検討。月毎の入込の平準化にも活用
・自社 HP 閲覧数：八重山への興味関心の度合いを測るために設定
・ミス八重山 Facebook ページフォロワー数：八重山の認知度および興味関心の度合いを測るために設定
・ミス八重山 Instagram フォロワー数：八重山の認知度および興味関心の度合いを測るために設定

様式１

## ７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

### （１）収入

| 年（年度） | 総収入（円） | 内訳（具体的に記入すること） |
|---|---|---|
| 2022（Ｒ４）<br>年度 | 50,931,219（円） | 【事業収益】 23,785,932 円<br>【受取補助金等】 6,433,432 円<br>【受取負担金】 19,070,192 円<br>【受取寄付金・協力金】 561,622 円<br>【雑収益】 1,080,041 円 |
| 2023（Ｒ５）<br>年度 | 53,167,931（円） | 【事業収益】 21,594,174 円<br>【受取補助金等】 18,290,332 円<br>【受取負担金】 9,119,624 円<br>【受取寄付金・協力金】 782,244 円<br>【雑収益】 3,381,557 円 |
| 2024（Ｒ６）<br>年度 | 86,151,430（円） | 【事業収益】 58,325,071 円<br>【受取補助金等】 20,244,301 円<br>【受取負担金】 4,740,812 円<br>【受取寄付金・協力金】 0 円<br>【雑収益】 2,841,246 円 |
| 2025（Ｒ７）<br>年度 | 66,543,924（円） | 【事業収入】 45,596,700 円<br>【受取補助金等】 14,156,412 円<br>【受取負担金】 4,740,812 円<br>【雑収入】 2,050,000 円 |
| 2026（Ｒ８）<br>年度 | 66,543,924（円） | 【事業収入】 45,596,700 円<br>【受取補助金等】 14,156,412 円<br>【受取負担金】 4,740,812 円<br>【雑収入】 2,050,000 円 |
| 2027（Ｒ９）<br>年度 | 66,543,924（円） | 【事業収入】 45,596,700 円<br>【受取補助金等】 14,156,412 円<br>【受取負担金】 4,740,812 円<br>【雑収入】 2,050,000 円 |

### （２）支出

| 年（年度） | 総支出 | 内訳（具体的に記入すること） |
|---|---|---|
| 2022（Ｒ４）<br>年度 | **47,852,121（円）** | 【事業費】45,179,020 円<br>【管理費】 2,673,101 円 |
| 2023（Ｒ５） | **48,209,198（円）** | 【事業費】43,875,812 円 |

| | | |
|---|---|---|
| 年度 | | 【管理費】 4,333,386 円 |
| 2024（Ｒ６）<br>年度 | 83,826,371（円） | 【事業費】81,130,337 円<br>【管理費】 2,696,034 円 |
| 2025（Ｒ７）<br>年度 | 65,443,720（円） | 【事業費】59,245,273 円<br>【管理費】 6,198,447 円 |
| 2026（Ｒ８）<br>年度 | 65,443,720（円） | 【事業費】59,245,273 円<br>【管理費】 6,198,447 円 |
| 2027（Ｒ９）<br>年度 | 65,443,720（円） | 【事業費】59,245,273 円<br>【管理費】 6,198,447 円 |

### （３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

【取組み】
コンソーシアム等の事務局受託による受託手数料
【今後の展開】
・沖縄県全体で、令和 8 年から宿泊税導入に向けた検討が進められており、圏域内の石垣市も同様に宿泊税導入を予定している。宿泊税を財源とした事業構築について、行政との検討を進めている。石垣市は R8 年宿泊税導入予定自治体であることから、宿泊税条例案を検討するための石垣市観光審議会が設立され、宿泊税の使途等について既に議論が進められており、同会の委員として YVBCMO である専務理事が参画しており、OCVB 沖縄コンベンションビューローとも連携した戦略会議を開始している。
・地域の魅力の掘り起こし・ブランディングと連動した着地型旅行商品（地域 OTA）の販売による手数料収入、観光ガイドの運営業務による収入を検討。

## ８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

石垣市、竹富町、与那国町は一般社団法人八重山ビジターズビューローとともに登録申請します

## ９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

**重複なし**

## １０．記入担当者連絡先

| | |
|---|---|
| 担当者氏名 | 綿貫　周平 |
| 担当部署名（役職） | 事務局長 |

| | |
|---|---|
| 郵便番号 | 907-0022 |
| 所在地 | 沖縄県石垣市大川 547 興ビル 206 号室 |
| 電話番号（直通） | 0980-87-6252 |
| ＦＡＸ番号 | 090-87-5509 |
| Ｅ－ｍａｉｌ | dmo@yvb.jp |

## １１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 石垣市 |
| 担当者氏名 | 西銘　基恭 |
| 担当部署名（役職） | 企画部観光文化課　課長 |
| 郵便番号 | 907-8501 |
| 所在地 | 沖縄県石垣市真栄里 672 番地 |
| 電話番号（直通） | 0980-82-1535 |
| ＦＡＸ番号 | 0980-82-9901 |
| Ｅ－ｍａｉｌ | nishime@city.ishigaki.okinawa.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 竹富町役場 |
| 担当者氏名 | 通事　太一郎 |
| 担当部署名（役職） | 自然観光課　課長 |
| 郵便番号 | 907-0012 |
| 所在地 | 沖縄県石垣市美崎町 11-1 |
| 電話番号（直通） | 0980-83-1306 |
| ＦＡＸ番号 | 0980-82-9901 |
| Ｅ－ｍａｉｌ | Touji-t@town.taketomi.okinawa.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 与那国町役場 |
| 担当者氏名 | 福里　貢太郎 |
| 担当部署名（役職） | 企画財政課　課長 |
| 郵便番号 | 907-1801 |
| 所在地 | 沖縄県八重山郡与那国町字与那国 129 |
| 電話番号（直通） | 0980-87-2241 |
| ＦＡＸ番号 | 0980-87-2079 |
| Ｅ－ｍａｉｌ | kotaro-f@town.yonaguni.lg.jp |

# （登録）【地域連携DMO】一般社団法人八重山ビジターズビューロー

様式２

記入日：　令和7年7月31日

## 基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　沖縄県石垣市、竹富町、与那国町
【設立時期】 平成27年4月1日
【設立経緯】 八重山圏域の観光事業の発展、観光客の誘致を図るため、併せて八重山圏域の観光を通した経済活性化、群民の文化の向上に寄与することを目的とし設立。
【代表者】 中山　義隆（石垣市長）
【マーケティング責任者（CMO）】 我那覇　宗広
【財務責任者（CFO）】 綿貫　周平
【職員数】 5人（常勤5人（正職員３人・出向２人））
【主な収入】
　県受託事業費約19百万円、補助金等約27百万円（R5年度決算）
【総支出】
　事業費約45百万円、管理費約3百万円（R5年度決算）
【連携する主な事業者】
　3市町の各観光協会、3市町の各商工会、八重山経済人会議、JAおきなわ-八重山、八重山漁業協同組合、石垣島特産品拡め隊、八重山タクシー事業協同組合、東バス、八重山観光フェリー、安栄観光、沖縄県県政業協会八重山支部、八重山地区宅地建物取引業社会、海上保安庁第11管区

## KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

| 項目 | | 2022（R4）年度 | 2023（R5）年度 | 2024（R6）年度 | 2025（R7）年度 | 2026（R8）年度 | 2027（R9）年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 旅行消費額（百万円） | 目標 | 70,000（未設定） | 117,400（未設定） | 123,800（未設定） | 130,400（12,900） | 137,500（13,600） | 144,900（14,300） |
| | 実績 | 94,660（0） | 104,800（2,191） | 124,580（未） | — | — | — |
| 延べ宿泊者数（千人） | 目標 | 2,961（未設定） | 3,213（未設定） | 3,486（未設定） | 3,782（561） | 4,104（592） | 4,452（624） |
| | 実績 | 3,270（0） | 3,795（0） | 未（未） | — | — | — |
| 来訪者満足度（%） | 目標 | 98.0（未設定） | 98.0（未設定） | 98.0（未設定） | 98.0（97.0） | 98.0（97.5） | 98.0（98.0） |
| | 実績 | 96.8（N.A） | 97.6（96.0） | 未（未） | — | — | — |
| リピーター率（%） | 目標 | 57.3（未設定） | 60.2（未設定） | 60.0（未設定） | 60.0（60.0） | 60.0（60.0） | 60.0（60.0） |
| | 実績 | 52.7（N.A） | 58.0（66.0） | 未（未） | — | — | — |

## 戦略

【主なターゲット】
　国内リピーター層
　国際線就航地を起点としたインバウンド個人客
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
　ロイヤルカスタマー化によるリピーター層の質の向上。（国内リピーター層）
　圏域内の観光・商工と連携したプロモーション。（インバウンド）
【観光地域づくりのコンセプト】
　八重山の8つの魅力を現した「島色、無限大∞

## 具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・与那国島コンテンツの磨き上げ
・フィールドミュージアム発信事業

【受入環境整備】
・八重山観光・交通コンソーシアム
　交通事業者を中心にコンソーシアムを設立し交通事業者との連携を図る。
・おきなわ観光地域カルテを活用した地域データベースの構築。

【情報発信・プロモーション】
・地元の生活と密着した要素にスポットを当てたSNSでの情報発信。（八重山島ぐらしカレッジ）
・国内外における八重山関連行事等においてPRと親善交流を実施。（八重山観光親善大使　ミス八重山）